

やまぐち GIS ひろば 第2回 GIS フォーラム レポート ver1.0

2016/ 10/ 28

やまぐち GIS ひろば
事務局) 弘中淳一

- (1) 日時：2016/ 10/ 14(金) 12:00 - 17:15 (意見交換会 17:45 - 19:00)
- (2) 場所：山口大学 大学会館 ([〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1](http://www.yamaguchi-u.ac.jp))
- (3) 主催：やまぐち GIS ひろば
- (4) 共催：NPO 法人全国 GIS 技術研究会
- (5) 後援：山口大学、山口大学教育学部、公立大学法人山口県立大学、山口東京理科大学、山口県、山口市、防府市、宇部市、萩市
- (6) 内容：以下、詳細 (総来場者数：83名)

<山口大学 大学会館>



(1) 講演会：13:00-17:00 大ホール

開会挨拶：山口大学大学院創成科学研究科教授 山本晴彦
(やまぐち GIS ひろば副会長)



司会進行：やまぐち GIS ひろば事務局 弘中淳一

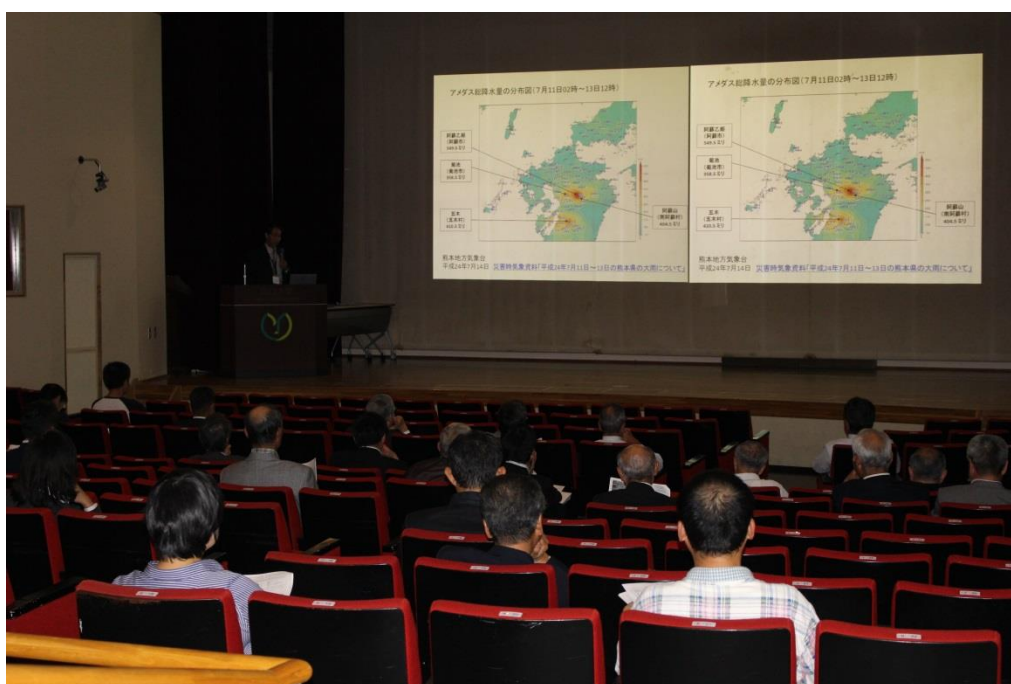


<会場風景>



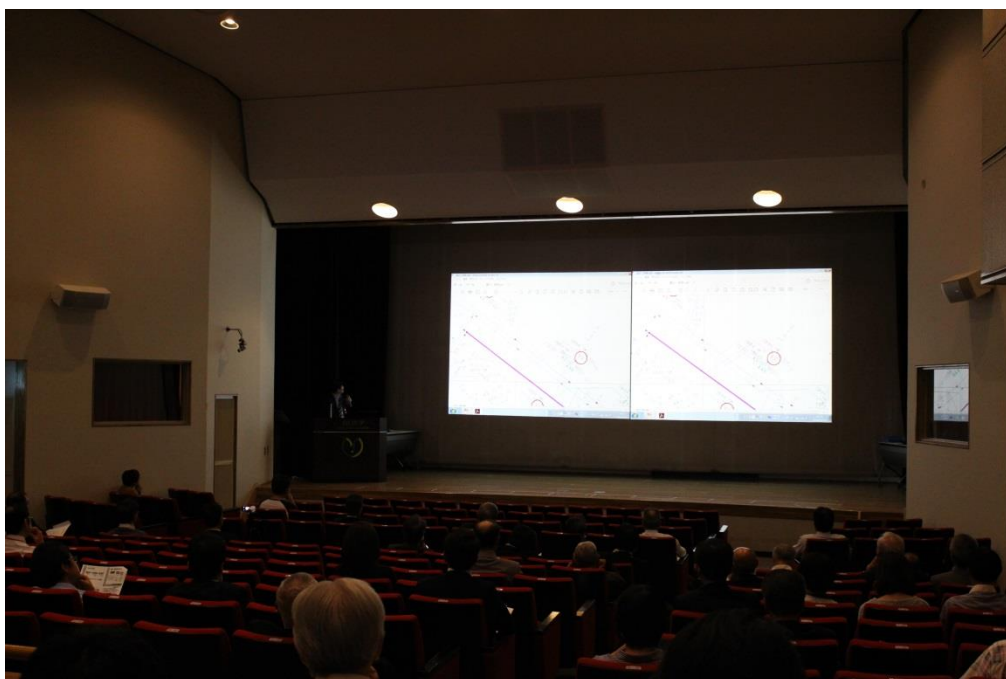
【基調講演】防災に関する調査や研究への地理空間情報やGISの利用

山口大学大学院創成科学研究科教授 山本晴彦（本会副会長）



【招待講演 1】(東日本大震災) GIS 活用事例 ～仙台市下水道での事例紹介～

NPO 法人全国 GIS 技術研究会 技術委員会委員長
(宮城県) 佐野コンサルタンツ株式会社 阿部輝男



【招待講演 2】（東日本大震災）住民が主役の復興を目指して
～復旧、復興の過程において OpenStreetMap が示した可能性について～
(岩手県) 特定非営利法人リアス NPO サポートセンター代表理事 鹿野順一



【パネルディスカッション】～山口県の防災GISを考える～

<コーディネータ> 山口大学教育学部講師 楮原京子（本会幹事）

<パネリスト> 山口大学副学長 三浦房紀（本会副会長）

山口大学大学院創成科学研究科教授 山本晴彦（本会副会長）

NPO 法人全国 GIS 技術研究会 技術委員会委員長 阿部輝男

特定非営利法人リアス NPO サポートセンター代表理事 鹿野順一



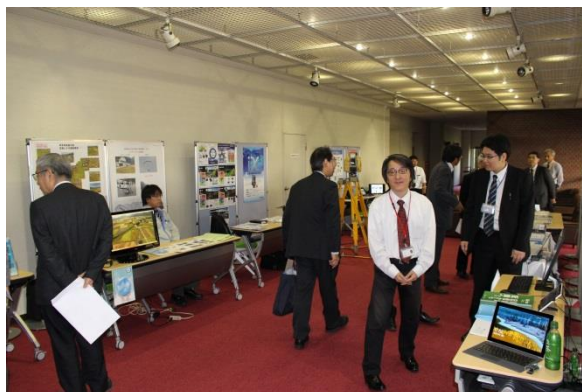
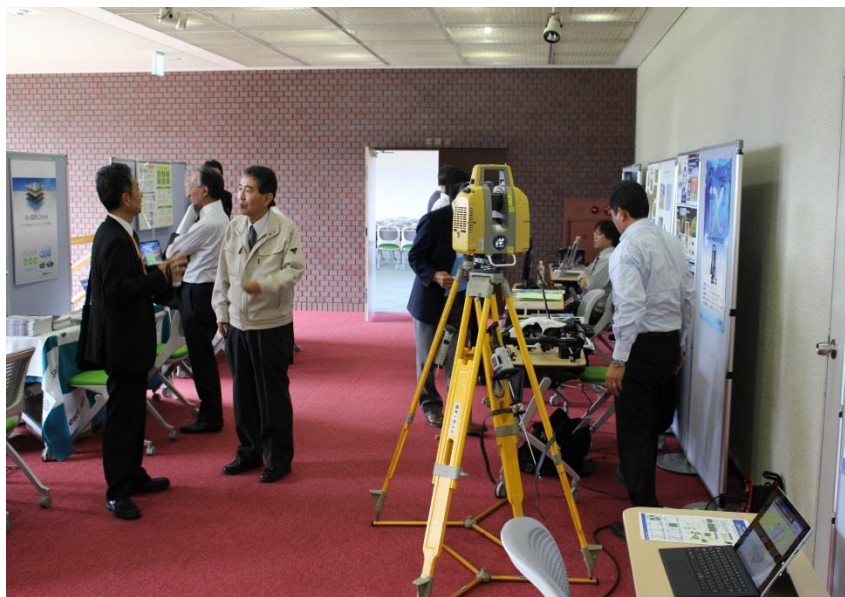
(2) 企業展示：12:00-17:15 展示ホール

【出展企業】（アイウエオ順）

宇部興産コンサルタント(株)	「埋立式処分場」「竹林バイオマス資源」GISシステム
(株)宇部情報システム	BCP対策は弊社データセンターサービスにお任せ下さい
ESRI ジャパン(株)	ArcGISが実現するGISプラットフォーム
(有)ソキワーク	「i-Construction」対応機器展示
(株)ニュージャパンレッジ	農業は記憶から記録へ。農家・耕地情報管理システム「MyFarm」
(株)マップコン	現場で活躍！タブレットで使う簡単GIS「出簡調デカチョウ」
(株)リクチコンサルタント	災害現地状況等、3D映像による地形の見える化

【応援企業】（アイウエオ順）

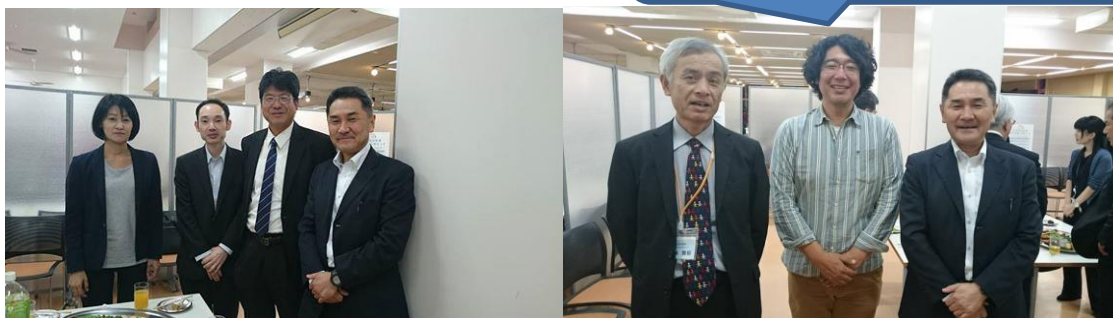
(株)ジツタ中国、(株)トプコンソキアポジショニングジャパン、福井コンピュータ(株)



(3) 懇談会：17:45-19:00 第一食堂



釜石（岩手県）から講演に来られた
鹿野（かの）さんです。



【所感】

本 GIS フォーラムにおきましては、サブタイトルを「迫り来る災害に備え、東日本大震災から学ぶ GIS の整備」とし、防災 GIS をテーマといたしました。こと防災において、GIS は国内をはじめ世界においても、被災状況の可視化、意思決定支援において欠かせないツールとなっており、東日本大震災をはじめ各所での災害復興支援に寄与していると聞いています。熊本震災の折、山口でもし何か災害が起こった時、GIS で何ができるのか、何が必要なのか、その必要性、重要性が伝える場を作りたい、という思いでこの度企画しました。

講演は、県内防災有識者の山本先生および東日本大震災を体験された招待講演者 2 名の実施となりました。山本先生においては研究者の立場における GIS のお話はもとより、山口県として共通で使える GIS 基盤の必要性をお話されました。招待講演者お二人にお

いては GIS 開発者、GIS ユーザそれぞれの立場で東日本大震災の体験談を、この山口の地で分かりやすくお話されました。

また、パネルディスカッションにおいては、パネリストに講演者 3 名に加え、県内防災有識者の三浦先生に加わっていただき、コーディネータ楳原先生の好リードで「山口県防災 GIS」の密な討議となりました。数ある防災講演会の中でも GIS という観点においてのお話は、またとない機会となったのではないのでしょうか。

改めて防災では、GIS においても平常時の準備が大切となることを認識しました。来る（かもしれない）山口県での災害に備え、オープンデータを活用した防災データベースの準備を行い、被災時にいつでも利用できる環境を整えておきたいと痛感しました。役員の先生方とともに、やまぐち GIS ひろばで実現できないかと考えております。

企業展示においては、7 社の展示となりました。せっかくの展示機会でしたが、講演時間と重なったため閲覧の時間が少なくなり、その点につきましては失礼いたしました。来年度以降は改善してゆきたいと考えております。

懇談会については、講演された方々、ご来場の方々と懇親するよい機会でした。

最後に、山口大学の会場関係者、講演者、役員。スタッフ等ご協力くださった皆様方、ならびに、ご多忙の折、足を運んでくださった参加者の皆様方に、改めて深く感謝いたします。おかげさまで、事故なく、滞りなく開催することができました。

以 上